

**グループ名 : B**

**タイトル 『リアルとバーチャルの調和が進んだ幸せな社会』  
(例えば、瞬間“移動”とゆったり“移動”)**

# フォーマット：2050年の社会像と方策（全体共有に向けて）

## グループ名：B

タイトル『リアルとバーチャルの調和が進んだ幸せな社会』（例えば、瞬間“移動”とゆったり“移動”）

### 2050年の社会像

（価値観、ライフスタイル、製品・サービス、ビジネス、政策など）

- ① 宇宙船地球号の資源の共有化、地球人全体の幸せを追求する倫理観の醸成、多重社会
- ② 幸せな競争による楽しい働き方、死ぬまで楽しく生きる。（競争がモチベーションになる）
- ③ バーチャルとリアルの共存，およびデジタルツインとそのためのハードウェア革新
- ④ BMIによる経験・価値観の伝達（アバター利用による人格の着替え，他人の人格をアップデート）
- ⑤ 個人情報に対する考えの革新（人類みな家族なら過度の情報秘匿は必要ない）

### 社会像を実現するための方策

#### ◇科学技術

- ・リアルとバーチャルの融合によるおしゃれで幸せな一次産業
- ・人格(アバター)の着替え技術（外人が日本人の漫才で笑える，バイリンガルが日本思考と海外思考を切り替えるような着替え）
- ・メタバースに必須のハードウェア開発
- ・BMIによる経験や価値観の伝達。快適な環境や味覚の創出
- ・感情センサのデータを文化の違いを吸収して伝達する
- ・文化の違いを埋めるテレパシー翻訳機
- ・やる気スイッチ、幸福学

#### ◇科学技術以外

- ・公平な競争がある幸せな社会（勝者を尊敬する社会、敗者をいたわる社会）
- ・日本国キツザニア計画(労働を遊びに。働き方改革)
- ・夏の2ヶ月、冬の2ヶ月、春の1ヶ月は国民の休日とする

### 留意点・懸念点

- ・メタバースやSNSの得手不得手で格差が広がる
- ・環境破壊や資源の奪い合い
- ・不幸な競争の激化
- ・人格情報過多による人格破壊
- ・自分が誰かわからなくなる
- ・他人と自由に入れ替わることが可能になって派生する問題
- ・自動運転車等AIのトロツコ問題

# <F1>【WS①で創発した社会像のレビュー】

13:30- 14:00

\*グループメンバー全員の同意確保

グループB		検討内容
サマリ	シナリオストーリーライン (創発した社会像は、どんなものであるか?)	<ul style="list-style-type: none"><li>● シームレス社会</li><li>● 時代の境目がない社会 (過去も未来もメタバース内に存在し、自由に時代を超えて往来が可能な社会になっている。)</li><li>● 生死の境目がない社会 (自分から見て他人は実在するのか死後に創造された人格か不明だが、そんなことを気にする人はいない。 さらに時代が進むと不老不死になり、自分の死期を選択できるようになる)</li><li>● 民族の境目がない社会 (民族により大きな隔たりがある思考が、脳およびAIの連結により理解可能になる。)</li></ul>
レビュー	コアポイント (戦略キーワード)	<ul style="list-style-type: none"><li>● リアルとバーチャルの融合</li><li>● シェアハウス (バーチャル含む)</li><li>● ハードウェア (ウェアラブル) 、BMI</li><li>● メタバース</li><li>● 競争社会の概念の破壊</li><li>● 多様な価値観の追求</li></ul>
	課題を設定	<ul style="list-style-type: none"><li>● BMI技術(Brain Machine Interface技術 (脳→検出は進んでいるが、機械→脳の方が、遅れている) )</li><li>● 通信技術 (通信量の増大、遅延への対処方法が、情報処理装置およびエネルギー問題と相まって問題となりそう)</li><li>● 責任の所在 (身バレ)</li><li>● デジタルデバイド (時代についていける人と置き去りにされる人が出る)</li></ul>

# <F2>【社会像実現のための重要なステップの定義1】

14:00- 16:00

グループB		現在と実現したい将来の間の時間間隔の設定		
		現在 (2022)	短中期 (2022 ~2035)	長期 (2022~2050)
外的環境	実現したい社会像を達成するために起こすべき重要なイベント	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 責任の所在 (国際標準化が鍵)</li> <li>● MS目標1で議論中</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 法律整備・国際標準化 (省スペース・省エネ・高速処理)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国際法で統一</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 世代間のデジタルデバイド</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ユニバーサルデザインの実現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● デジタルデバイドの消滅</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● エネルギー不足 (新しいエネルギー源とエネルギーマネジメント技術で解消)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● エネルギー産出と利用の最適化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● エネルギーマネジメントを達成</li> </ul>
内的環境	実現したい社会像を達成するために起こるべき重要なステップ技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 脳科学の推進(脳に情報を非侵襲で注入する技術開発が重要)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 脳入力手法の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 脳・機械の連結</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● BMI技術 (非侵襲BMI技術)</li> <li>● Newrolink侵襲型</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 非侵襲BMI技術のプロトタイプ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 非侵襲BMI</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 通信技術 (ケーブルレス)</li> <li>● 5G、衛星通信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 最適デバイスの開発</li> <li>● (省スペース・省エネ・高速処理)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ケーブルレス</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 機器の省エネ化(量子計算機、生物のATP (エネルギー変換効率100%))</li> <li>● 核融合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 量子技術・ATP</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 省エネ機器</li> <li>● 核融合実用化</li> </ul>

# <F3>【社会像実現のための重要なステップの定義2】

16:00- 17:00

